経営理念

京都銀行グループは、創立以来一貫して「地域社会の繁栄に奉仕する」を経営理念に掲げ、地域金融機関として地域のお客さまとともに歩んでまいりました。

サステナビリティ経営

京都銀行グループは、経営理念のもと、創立以来、地域社会とともに歩む地域金融機関として地域の社会的課題や環境問題の解決に取り組み、成長してまいりました。地域の持続可能性に向けたこの取り組みこそがサステナビリティ経営の本質であり、2015年9月に国連総会で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で示されたSDGsに向けた取り組みと軌を一にしております。

経営計画

2020年4月開始の第7次中期経営計画「Phase Change 2020」の策定にあたり、経営理念のより一層の実践のため、「当行のありたい姿」を再確認するプロセス「4,000人全員で考える『京都銀行未来ビジョン』」を取り入れました。全従業員から集約した意見からは、「地元でお客さまに対し充実したサービス提供をおこない、地域・お客さまとともに成長を続けたい」という「おもい」と、「これまでに築いてきた広域マーケットにおいて引き続き圧倒的な存在感を示していきたい」という「強い意志」が示されました。

全従業員のこれらの「おもい」と「強い意志」が込められた経営計画に基づく事業展開を通じて、持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

京都銀行グループ

京都銀行グループは、銀行および子会社7社、関連会社1社で構成しており、銀行業務を中心に、証券業務、信用保証業務、リース業務、キャピタル業務、クレジットカード業務など多様なサービスを提供しております。

お客さまのニーズが多様化する中、グループ一体となり、ワンストップでの総合金融サービスを提供してまいります。

CI（コーポレート・アイデンティティー）・シンボルマーク

1985年に京都のリーディングバンクとしての地域の負託にこたえていくため、CIの基礎となる企業理念を「ザ・バンク・フォア・キョウトー京都と京都府民の皆さまのための銀行」と定めるとともに、企業理念や経営に対する考え方を、色と形で象徴するものとしてシンボルマークなどを制定しました。
5本のラインは、京都の暮らしや文化風土の母胎ともいえる京都の代表河川「鴨川・桂川・宇治川・木津川・由良川」をイメージし、また御所や社寺の土塀に流れる5本の白い横線、京都五山なども意図したもので、未来に伝えたい京都の文化を象徴化するとともに、すっきりした優しいイメージは京都の誇る伝統美のセンスに通じております。
同時に、共感・先見・創造・意欲・愛という当行役職員が目指すべき行動「5つの誓い」を込めております。